

シルバーいなぎ



第 51 号
平成 25 年 2 月発行
公益社団法人
稲城市シルバー人材センター
広報委員会

平成 25 年度の事業運営に対する基本的な取組み

●会員一人ひとりが厳しい状況を認識しよう

会長 三澤 一彦

平成 24 年度ももうすぐ終わり、新年度（平成 25 年度）予算のまとめの段階になってきました。

平成 24 年度は、第一倉庫の火災に伴う歳出の増に加え、

適正就業の洗い出しによる契約の断念、景気動向の悪化を要因とする契約額の減少など、例年にも増して厳しい決算となると憂慮しているところでございます。

昭和 55 年 5 月に発足した稲城市高齢者事業団は、平成 23 年 4 月 1 日から新たに「公益社団法人稲城市シルバー人材センター」として再スタートし、平成 25 年度は 3 年目を迎え、更には本格的な高齢社会の到来とともに、社会的責任や役割はますます増大してくるものと考えています。

一方、これまでセンターの事業は、高齢者福祉施策の一環として一定の理解と協力が得られてきましたが、社会経済状況や雇用状況の悪化及びわが国の人口構成における高齢者の増加などを背景として、社会からみられる目(位置づけ)もより厳しくなっており、事業の遂行もますます厳しさを増してくるものと予測しています。

このような中での新年度予算編成にあたっては、社会状況の変化などから景気の上昇には期待はしているものの、箍(たが)を緩めることなく、「最少の経費で最大の効果」(入りを量りて 出づるを制す)ということを基本とし、歳出では、極力無駄を省いた真に必要な支出(歳出の精査)、歳入では、引き続き公共からの補助金の獲得に努め、更に確

かで信頼される仕事、サービスの向上を通じ、新規開拓を含めた受注の増大に努めていくこととしています。

このようなときこそ、会員一人ひとりが厳しい状況を認識していただき、全会員一丸となって、この窮地を乗り越えていくことが大切と思っていますので、どうかご理解とご協力をお願いいたします。

平成 25 年 1 月

副会長交代のお知らせ

◆小山副会長辞任

平成 23 年 4 月から副会長として約 1 年 9 カ月会長を支えてきた小山 庸夫さんが、このたびご都合で副会長職を辞任したい旨の申し出があり、1 月開催の平成 24 年度第 10 回理事会で承認されました。

◆新井田 修さん副会長に就任



後任の副会長は現理事の中から新井田 修さんを理事の推挙によって選出しました。

平成 24 年度現在における新井田 修さんは理事職をはじめ事業部会部員として、また安全管理委員会委員長、安全事業部会部長として中期の事業計画立案の作業に従事しています。

一般会員とは東長沼地区・百村地区担当理事として、地区会のたびに皆さんに接してきています。

会長を支える副会長として最適者であることは周知の通りです。現在の思いを伺いました「会員の皆様と自然体で交流したいと考えています」とのことでした。

希望職種交代要員募集のご案内

《希望職種》グループの交代要員を募集しております。この職種は無償の研修期間があり、役員・発注者による面接があります。研修は交代月の約1カ月前から数日行います。

Table with 4 columns: グループ, 人員, 就業体制, 交代月. Rows include ふれんど平尾, 第四文化センター, 中央文化センター, etc.

※申込み締切日は交代月の2カ月前の末日です

就業情報!! 次のような仕事もあります

- ★毛筆による「宛て名書き」・「賞状書き」の就業希望者を募集しています(直筆見本提出要)
★特産品「いなぎの梨」の花粉付の就業希望者を募集しています。

★家事援助

一般家庭内のちょっとしたお手伝いの出来る方(男女を問わず)を募集しています。

- ・窓(ガラス)拭き・網戸洗い・家具や荷物の移動・電球の交換・一般住宅のお掃除全般・食事の支度など

SC会員の親切・丁寧な基本的マナーが発揮できる仕事です。詳しくは、事務局までお問い合わせください。

Table with 2 columns: Item, Value. Includes 公益社団法人 稲城市シルバー人材センター, 所在地, 電話, 12月31日現在 会員数, etc.

地区会の動静 (平成24年度 第2回・第3回)

Table with 6 columns: 地区名, 第2回開催 (開催日, 会員数, 出席率), 第3回開催 (会員数, 開催日). Rows include 矢野口 第1, 2, 3, 押立, etc.

※第3回目は各地区とも2月14日開催の地区長会以降となる

会員の皆様に大切なお願いです

アンケートの回収にご協力を!!

事業の拡大は市民や発注者の信頼があつてこそ達成できます。信頼を獲得する最善の道を私たち自身が見つけなければなりません。

◆アンケートの回収方法

アンケート用紙は、第3回地区会開催時に地区長さんにお渡しください。地区会欠席の方は、平成25年3月22日(金)までに事務局に提出してください。(箱が用意してありますので、投函してください)

会員の入退会 期間: 9月1日~12月31日

Table with 3 columns: 地区, 入会者, 退会者. Rows include 矢野口 1, 2, 3, 押立, etc.

就業中は必ず会員証を携帯してください



シルバー活動報告

(平成24年10月～平成25年2月)

○10月20日・21日 市民祭に参加

広報ブースでは、シルバー人材センターの事業内容の展示と説明、チラシ配布をしました。



▲お客様が多くてうれしいね。

女性就業ブースでは、カップラーメンと布ぞうりの販売をしました。布ぞうりは好評で、売り切れとなりました。

リフォームブースは、リフォームの案内と衣服等の販売でにぎわいました。

また、「ふれあい祭子どもイベント」ではお手玉・割りばし鉄砲やバルーンアートなどの活動に、子供達が集まりました。

○11月8日・11月16日

在籍会員理念再研修(3年)

振興プラザ4階会議室で2回に分けて実施しました。一回目は36名、二回目は27名参加しました。

研修テーマは、安全就業・マナー・接客についてでした。数名ずつの班で、活発にディスカッションしました。

○11月12日 グループリーダー会議実施

会議室に各グループのリーダーが集まりました。消防署の方から火災予防についてのお話があり、みんな熱心に聞いていました。



◀三澤会長の挨拶



その後、各グループでの火災予防の取り組みについてディスカッションをしました。

○11月13日 振興プラザ周辺除草ボランティア

朝9時、振興プラザを利用する団体が、玄関周辺や駐車場の除草をしました。

参加者21名は寒さの中、一生懸命に草を抜いたり落ち葉を集めたりしました。

○11月28日 健康ハイキング実施

健康に良いハイキング、34名の参加者が府中郷土の森まで歩きました。

当日は良いお天気で、全員が軽快に歩くことができました。

府中郷土の森では公園内散策だけでなく、特別プログラムのプラネタリウムも見ました。

○12月18日 市内一斉防犯パトロールに参加

市内一斉防犯パトロールが五つの地域に分けて実施されました。



▲オレンジの「錦旗」を持つ会員

シルバー人材センターでは、各理事のほか、各地域に住む会員が54名参加しました。

寒い日でしたが、シルバー人材センターの会員が町内を温かく見守っていました。

○2月4日 在籍会員理念再研修(6年)

シルバー会議室で実施しました。

17名の会員が参加し、講師の話「60代からの健康講座～身体の若さをたもつコツ～」を熱心に聞きました。

その後、レインボー体操で体をほぐし楽しく研修しました。

≪理事會報告≫ (抜粋)

平成24年度第10回1月21日(木)午後3時より

- ・【事務局報告事項】
- ・業務報告・退会報告
- ・事業実施状況報告12月分
- ・【部会報告】
- ・基本計画安全事業
- ・【委員会報告】
- ・広報委員会
- ・女性就業推進委員会
- ・F平尾運営協議会
- ・【承認事項】
- ・新入会員の承認
- ・【議決事項】
- ・17号役職員旅費規程の改正
- ・18号費用弁償支給要綱の改正

会員のひろば

健康講座

物忘れは認知症ではありません

人が誰でも持っている物事を考えたり、判断したり、計算したり、見当（日にちや場所などがわかること）をつけたりする能力のことを医学用語で認知機能というそうです。

この能力が低下した状態が認知症ですが、私達はそんなに簡単に認知症にはなりません。

「最近物忘れがひどい、歳だから仕方ない、認知症になるのでは」という声を耳にしますが、これは年齢とともに記憶の引き出しが錆びついてなかなか開かない現象で、ちょっと時間がかかっているだけで認知症ではありません。

認知症の兆候は個人差がありますが、例えば、誰かと約束した事の自覚がない（忘れる）、時間感覚や判断力の低下、体感したこと（食事をしたなど）自体を忘れる、日常生活に支障が出始める、などが現れるそうです。

一般には加齢とともに脳の機能が衰える病気と定義され様々な脳機能強化策（脳トレ）や食事に関する情報が溢れています。

さて、私たちが日常の生活で認知症予防をどうするか食材以外のことで会員のみなさんにお勧めしたい現実的な方法を紹介します。

まず、脳を毎日刺激的に使うことが必要です。その刺激的とは

- ① 驚きや感激してドキドキすること
- ② 綱渡りなどのようにハラハラすること
- ③ 大いに笑って心からリラックスすること

この3つは脳の働きと関係なさそうですが実は脳がフルに活動しているそうです。

これを毎身体感するには一人ではできません。

要は家族、友人などとコミュニケーションを大いに取ることに他なりません。

ふれんど平尾リニューアルオープンへ

当SCの襖張り作業所がある、ふれんど平尾の耐震工事が3月31日に1年間の工事期間を終了します。

4月1日から複合施設として市内の各種団体が以前と同様に利用が可能になります。

順調に成長した「布ぞうり教室事業」

20回目の布ぞうり教室を1月17日に開催しました。

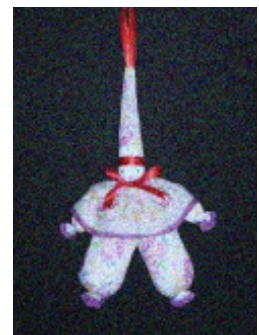
昨年11月に町田のSC女性就業推進委員の方3名が当SCの布ぞうり教室に参加されました。

町田でも25年度に事業を計画したいと言うことで、順調に成長している当SCの事業が参考にされたことは嬉しいことです。

ピエロ人形づくり

当SCが市民対象のリサイクル講習会を開催

昨年12月11日にピエロ人形作りが稲城市環境学習センターで行われました。これはダンスに眠るハンカチをピエロ人形にリサイクルする講習会で、7名が参加し、楽しいひと時を過ごしました。



▲ ハンカチが可愛いピエロ人形に生まれ変わりました

編集後記

最近、節分の日に「恵方巻き」を食べる風習があります。

恵方巻きは、江戸時代末期、大阪の船場で商売繁盛を祈願する風習として始まったものと言われていました。

ここ近年、全国のスーパー・コンビニで販売・宣伝され急速に全国に広まってきました。

その年の神様がいる方向を向いて（今年は南南東）縁起ものの太巻きを丸かぶりするとよいと言われていました。食べている間に願いを込める、縁を切らない、と言う意味合いから、無言で丸ごと一本かぶりつくこととされています。みなさんはどのような願いを込めたり、素敵な縁を繋げたりしたのでしょうか。暖かい春が来るとよいですね。（τ）